基礎中国語 II

科目ナンバリング　CHI-102
必修　　1単位

閻　　淑珍

1. 授業の概要（ねらい）

前期の基礎中国語に続き、後期も週4回、同一のテキストを使った連続授業である。発音の練習を強化し、初歩的な文法を身につけて、簡体字の書き方を覚え、簡単な会話ができるように授業を展開する。前期と同様、簡体字の練習、基本文法、簡単な会話と短文の練習、リスニングに力を入れる。具体的には、テキストの各課の文法ポイントを消化して応用できるように、習った文法を繰り返し練習する。同時に、中国語に特有な表現に現れた中国人の思惟方式及び中国の伝統文化を紹介する。中国人の考え方を理解し、中国語の表現の仕方に慣れることが大事である。

2. 授業の到達目標

本学期での到達目標は以下となる。①ピンインの発音を完全にマスターする。②簡単な会話を覚える。③簡体字の書き方及び初級文法を習得する。④簡単な日常会話を聞き取れるようにする。

3. 成績評価の方法および基準

学習態度（積極的に質問する、質問に答える、予習復習をする）は10%、中間テストは40%、期末テストは50%を占める。正当な理由なく事前連絡もなく、どちらかのテストを受けない学生は、評価ランクの“D”に入る。なお、3回の遅刻は一回の欠席と見なし、欠席回数が60回中10回を超える学生は（10回も含め）、評価の対象にならない。

4. 教科書・参考文献

教科書
杉野元子　ほか　『大学生のための　初級中国語40回』　白帝社

5. 準備学修の内容

各課の単語の発音及び文法を予習する。
各課の会話文、文法及び練習問題を復習する。
。

6. その他履修上の注意事項

高い視点で中国語の将来性を見据えて、明確な目標を持って中国語を勉強することを期待する。中国語のみでなく、中国文化や歴史、現代社会に関する情報・知識に対し、ハングリー精神と高い意欲を持ち、生き生きと学習することを期待する。中国語で表現することに慣れるように、まずテキストの本文を熟読または丸暗記できるまで声を出して朗読するのが望ましい。中国語の会話において、間違いを恐れず、恥ずかしがらずに積極的に表現すること。また、単語や例文をマメにノートに書き写すこと。中国語で日記を書くことも上達の近道である。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス　（授業の進め方と学生への要望）、前期の総復習）
【第2回】　第21課　経験の”过”と疑問詞のまとめ
【第3回】　第23課　助動詞
【第4回】　第25課　時間量補語、離合動詞
【第5回】　第27課　状態補語
【第6回】　第29課　結果補語
【第7回】　中間テスト
【第8回】　第31課　比較文
【第9回】　第33課　進行形
【第10回】　第35課　存現文
【第11回】　第37課　処置文
【第12回】　第39課　使役文
【第13回】　総復習
【第14回】　総復習
【第15回】　まとめと期末テスト